

コスト・ラムロ कस्तौ राम्रो

特定非営利活動法人徳島ネパール友好協会・通信No.21

(すばらしい)

ダマク市において消防車の贈呈式が開催されました。

プレス・リリース (新聞発表)

2017年10月23日

日本、ジャバ郡ダマク市に消防車を寄贈

(ダマック:10月22日)小川正志駐ネパール日本大使は、ダマック市長の Rom Nath Oli氏に15本のホースを含む消防車と付属品を贈呈した。

ダマク市の消防車寄贈事業は、日本政府の「草の根の人間の安全保障無償資金協力 (GGP)」によって資金提供されたものである。この中古消防車は、徳島ネパール友好協会の協力を得て、日本の名西消防組合から贈られたものである。

現在、ダマック市役所では、市及び周辺地域の消防活動に使用される消防車を1台保有しており、昨年は80回以上出動した。しかし、都市化による人口増加と周辺地域からの要請に対し、すべてに対応することが困難となってきた。

消防車はダマク消防署によって管理され使用されている。この消防署は1994年に設立され消防士8人と運転手が24時間待機している。

この消防車の利用により、地域の人々の生活に安全をもたらすものである。

日本国大使館は、このプロジェクトが必要な人々の命を救うことに貢献することを期待している。また、このプロジェクトの成功により、日本とネパールの二国間友好関係を強化していきたい。

駐ネパール日本大使館 (訳: 協会)

PRESS RELEASE

Embassy of Japan
P.O. Box 264, Kathmandu
<http://www.np.emb-japan.go.jp>

JEINF No. 31-2017.

October 23, 2017

Japan Provides a Fire Engine for Damak Municipality in Jhapa

(Damak: 22nd October): The Ambassador of Japan to Nepal, Mr. Masashi Ogawa, handed over a fire engine and its accessories, including 15 hoses, to Mr. Rom Nath Oli, the Mayor of Damak Municipality.

The Project for the Provision of a Fire Engine for Damak Municipality is funded under the Grant Assistance for Grassroots Human Security Projects (GGP) of the Japanese Government. The used fire engine was gifted by Myozai Fire Department in Japan, through the cooperation of the Tokushima-Nepal Friendship Association.

Currently, Damak Municipality Office owns one fire engine which is used for firefighting in the municipality as well as the surrounding areas. Last year it was called out more than 80 times. Due to the increased population, resulting from urbanization, and also demand from the surrounding area, it is becoming more difficult to respond to all incidents.

The fire engine will be managed and used by the Damak Fire Section. The department was established in 1994 and has eight fire fighters and drivers, who work 24 hour shifts.

This fire engine will be utilized in the district and it will contribute to keeping people safe.

The Embassy of Japan hopes that this project will contribute towards saving the lives of people in need. Also, with the success of the project, we hope to enhance the bilateral friendship between Japan and Nepal.

Embassy of Japan in Nepal
Tel: 4426680 Fax: 4006725
E-mail: cultural-emb@kn.mofa.go.jp



徳島大学総合科学実践プロジェクト～ネパール農村スタディツアー～随記

今年度から、学生の海外での調査研究活動を単位とする新カリキュラム「徳島大学総合科学実践プロジェクト」がはじまり、その1コースである「ネパール農村スタディツアー」をサポートするため、2017年9月16～28日の日程で、ネパールを訪問しました。

今回の目的は、実際に学生が自ら村人の中に入り、直接、村の課題や将来への希望などの情報を収集・分析し、今後の国際支援等に役立てようとするもので、ブジュン村について、今までとは違った視点からの情報が得られ、協会の今後の活動にも大きなプラスになることが期待されます。

参加メンバーは、総合科学部2年の山川さん、池島さん。それに、内藤先生と私に加え、女子学生2人の参加ということで、ブジュンにもなじみの深い上勝町の田中貴代さんに声をかけたところ、快く同行を承諾いただき、計5名での訪問となりました。

<9月17日>いくつかトラブルはあったものの、夕刻、無事トリブバン空港に到着し、例のごとく、ビシュヌ氏とラジェッシュの出迎えを受ける。いつもの、深夜の到着と異なり、時間的にも余裕があり、ホテル・ジャガットにチェックインの後、ふる里で夕食。英語の達者な女子学生二人は、夕食後、早速タメルを自由行動。

<9月18日>午前中は、スレンドラの学校でネパール語の簡単な会話を習う。初日の午後は観光の予定だったが、旅慣れた学生の希望で昼食を含めてフリー。なお、田中さんは、ラジェッシュの自家菜園を見学し、種屋を回った模様。農業の話で盛り上がったらしい。

<9月19日>午前中は、スレンドラの学校でネパール人のクラスに混じって講義を聴き、生徒と質疑応答。楽しい時間が過ごせた。そのあと、観光局へ行きアナンプルナ保全区域の入域許可を取得。午後は、スレンドラの強い勧めでバクタプール観光。じっくり3時間滞在し、スレンドラのネットワークへの想いと知識をふんだんに聞くことができた。



<9月20日>早朝いよいよブジュンへ出発。意外に車が少なく11時にはベシサハールに着く。道が15時から通行止めになるということで、昼食もそこそこにジープに乗り換えブジュンへ。かなり大規模に拡幅工事が行われているが、路面排水への配慮はほとんどなく、雨期の路面は相当ぬかるんでいる。しかし、この悪路に学生たちは結構はしゃいでいる。ガレガオンが近くなるとガスが降りてきて、展望も全くなかった。それでも、ブジュンには、まだ明るい17時過ぎに着くことができた。ガンビールの懐かしい顔が駐車場にあった。女性部の方々の盛大な歓迎を受けてスージャンホテルに到着。ジェニさんが出迎えてくれる。チャーを飲んだらすぐに歓迎式典。女性部を中心に多くの村人がホテルの前庭に集まり、まず、ツルさんがあいさつ。そのあとこちらから隊員の紹介や今回の訪問主旨説明を行う。式典が終わると、程なくかなり強い雨が降り出し、もし、到着が遅れていたら大変だったとほっとする。

<9月21日>朝から雨。今までの訪問では経験したことのない本格的な降り方。午前ツルさんと索道委員長のディルさんが来て、今後の日程や活動について打ち合わせ。村の課題を聞くと、村外に進学したあと若者が村に戻らないことが最大の課題であるとのこと。まさに、日本と変わらない。また、新たな事業の要望についても検討をお願いします。索道については、一部部品の損耗を除いて特に問題はないようで、交換用の部品を渡し代金の請求書を示す。午後は、少し雨も小やみになったので学生を連れて村内を回る。

<9月22日>今日も雨。小やみになったところで、ツルさんの案内で Word (町内会) の境界を確認する。ブジュンは、9つの Word に分かれているが、その境界は複雑で図示も難しい。このため、内藤先生のGPSを使って地図をつくることにする。午後はツルさんを連れて上のジープ道を見に行く。路側の側溝が機能しておらず雨水のほとんどが路面を流れて、深い溝やぬかるみを作っている。路面を高くして、横断側溝をつくれればずいぶん道は荒れずに通りやすくなるはずで、何とかこの技術を定着させたいものである。夕方ようやく晴れ間が見え始め、ラムジュン・ヒマールが初めて姿を現す。



<9月23日>学生による日本紹介プログラムについて案内していたところ、ダサインの休みにもかかわらず、20名以上の中学生が集まってくれる。紙芝居方式で日本や徳島を紹介したあと、質疑応答や折り紙で楽しい時間を過ごす。「美馬基金」の奨学生で現在は先生をしているプリティー・グルンさん(22歳)も登壇し、徳島への感謝の言葉を述べてくれた。また、学校会(PTA)会長のビットラマン・グルンさんからも、「美馬基金」への感謝を伝えられた。ただ、学生の進路や将来への希望を聞くと、医師や海外など、ブジュンを離れる進路がほとんどであった。午後は、学生を連れて発電所の見学。夜は交流会があり、ロキシーと踊りで大いに盛り上がった。



<9月24日>今日から学生は、ブジュンの各世帯の戸別ヒアリング。最終的には全世帯を回り分析する計画とのこと。私と田中さんのはのんびり留守番。でも、田中さんの元にはひっきりなしに子供たちが顔を出す。昼からは、ガンビールとNo.3 索道の滑車交換。ほとんど手伝う必要なしに慣れた手つきで、1時間足らずで手際よく交換が終わった。夜、ナラヤンさんとディールさんが来て滑車の代金を受け取る。ドラムについて、地元でメンテナンスできる体制の構築に関し協議。索道が十分に活用されていることがわかる。



<9月25日>いよいよ最終日、午前ヒエと米の収量調査。1m四方の枠内の生立本数と分けつ数を調査。学生は、引き続き戸別ヒアリング。結局2日間で18世帯の調査ができた模様。長いようで短いブジュンの5日間。学生さんは、どんな感想を持ったのだろうか？

<9月26日>さらばブジュン。皆の見送りを受け、7:00に出発。天気は雲が多く、あいにくだったが、ガンポカラ、ガレガオンでは、雲の切れ間からマナスルが望めた。これで、思い残すことがなくなった。今度は、いつブジュンを訪れるのだろうか？
(記：理事 早田健治)



ネパール徳島(日本)友好協会 2018訪日計画(案)

ネパール徳島(日本)友好協会の会員の皆さん(14名)が友好親善を図るため、徳島へ来られます。1月12日には歓迎夕食会を予定しておりますので、参加についてよろしくお願ひします。

- | | | |
|----------|---|-----------------|
| 1月11日(木) | 関西国際空港着 空港バスにて徳島へ
阿波踊り会館観光 徳島ネパール友好協会役員との協議 | センチュリープラザホテル徳島泊 |
| 1月12日(金) | 鳴門・渦の道~県庁(表敬訪問)~阿波十郎兵衛敷~しいたけ栽培施設
徳島ネパール友好協会主催歓迎夕食会 18:00~ 阿波観光ホテル | 徳島泊 |
| 1月13日(土) | 広島日帰り観光 | 徳島泊 |
| 1月14日(日) | 「にし阿波」地域観光又はホスト・ファミリー宅訪問 高速バスで東京へ | 車中泊 |
| 1月15~16日 | 東京観光 | 東京泊 |
| 1月17~19日 | 京都・奈良観光 | 京都泊 |
| 1月20日(土) | 大阪観光 | 大阪泊 |
| 1月21日(日) | 関西国際空港発 タイ経由 帰国 | |

2018
TOKUSHIMA NEPAL
FRIENDSHIP ASSOCIATION
(NPO)

2017年9月に徳島大学総合科学部の「総合科学実践プロジェクト-ネパール農村フィールドワーク」に協力して学生交流と社会貢献活動を実施しました。村の中学生を対象に日本事情に関する講演をおこなったり、徳島ネパール友好協会によるこれまでの支援活動の報告や今後の計画についての調査を行いました。今年のカレンダーのテーマは、学生たちと訪問した場所の写真です。

徳島ネパール友好協会は、こうした幅広い社会貢献活動を続けてまいります。みなさまからのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

1 January 2 February 3 March 4 April 5 May 6 June
7 July 8 August 9 September 10 October 11 November 12 December

特定非営利活動法人
徳島ネパール友好協会
〒779-3211
徳島県名西郡石井町藍畑西覚円718番地5
Tel: 088-675-0835 Fax: 088-674-4168
E-mail: info@tokushima-nepal.jp http://tokushima-nepal.jp/

ご入会、ご支援をお待ちしております。

協会短信

例年どおり、協会特製のカレンダーを作成しました。ネパール製カレンダーと合わせて販売しておりますのでよろしくお願ひします。

なかなか、ネパール訪問の企画を提案できませんが、ネパール観光を始め、ヒマラヤ・トレッキングなど興味ある方や訪ねてみたい方々に対し、各種情報提供を行ってまいりますので、気軽にお声かけください。

会費納入、寄附金の納入先は次のとおりです。引き続き、震災復興に向けた募金活動も実施しておりますので、よろしくお願ひします。

会費・寄附金納入先
ゆうちょ 記号16290 番号16731481
阿波銀行 石井支店(402)普通1264552

ネパール震災救済基金
郵便振替 01600-2-52742

<p>特定非営利活動法人 徳島ネパール友好協会 Tokushima Nepal Friendship Association(NPO)</p>	<p>〒779-3211 住所: 徳島県名西郡石井町藍畑西覚円718番地5 電話: 088-675-0835 FAX: 088-674-4168 ホームページ http://www.tokushima-nepal.jp/ 電子メール info@tokushima-nepal.jp</p>
---	--